

自信を持って  
提案できるのは  
結局ワーク。

WORK×KUHLL×TALK

KUHL(クール)はオリジナルエアロのメーカーであり、カスタムショップでもある。だから片岡代表をはじめとしたスタッフにはパーツ全般に渡るノウハウが必要となる。そのうえで、ホイールカスタムについてどう考えているのだろうか。

「メーカーとしてエアロが第一、と言いたいところですが、個人的にはまずアシをどうするか重要ですね」と片岡代表。さらにこう続ける。

「どれぐらいの車高にしたいのか希望を伺って、そしてエアロの有無によってどこまで落とせるかが判断できます。ローダウンだけしてホイールが純正ではイマイチだから、AWも車高と同時に考える形になりますね」と。

例えば実用性を維持した車高にしたい、あるいはシヨを意識してエアサスを導入したい。そうしたユーザーの希望を最優先として、それに適したアルミホイールを選んでいく。クールではホイールの選択も任せられることが多いそうだ。

「ホイール選びを任せていただいた場合、自信を持って勧められているのはワークがほとんどですね」と片岡代表は話す。事実、デモカーにもワークが



Kuhl Racing代表  
片岡サンに聞いた  
**WORK**への想い

# 超工業 スペックの 説得力。

インストールされている。  
「例えばワークの2ピースだとインセットがミリ単位で調節が効きます。特にアル&ヴェルはリアがマルチになっているから、車高を落とせば落とすほどハの字になって、それに伴って深いホイールが履ける。車高ダウンの程度に合わせてJ数やインセットをどうすべきかのデータをうちでは豊富に持っていますので、インチを含めて選択肢を具体的に提案できます」。

ワークはバリエーションが

豊富なので、調整も効く。だからユーザーのどんな希望にも応えられるホイールは、「やっぱりワーク」というわけだ。「だから同時に、ショップの腕前を試されるブランドとも言えますね」と補足する。

さらに工業製品としての高い信頼性にも一置いていると片岡代表は教えてくれた。「いろいろなホイールに触れてきて、ワークの品質は抜群に良いと感じています。ワークは社内の品質試験が厳しらしく、実は私がデザインし

たホイールの製作を依頼しているものの、デザイン優先では強度試験をなかなかクリアできない。そうした職人気質なところも信用できますよね」。

また、ワークはカラーリングにも豊富な選択肢があり、モノによっては職人が手作業でブラシを当てている。こうして完成する表情豊かな色合いもまた、ワークの魅力だ。

「店としてはお客様に多くの選択肢を含めて考えたい。しかし信頼性を含めて考えると、結局ワークになるんです」。



名古屋を拠点に国内外から注目を集めるKUHLエアロのデザインを自ら担っており、開発中は自分の目でチェックを重ねるこだわり派。ホイールは9J以上の太さが欲しいと熱弁。



KUHL店舗にはユーザーが検討しやすいようにとホイールをズラリ並べたコーナーが設置されている。KUHLはカスタムショップとしても活躍しており、足回りには特にこだわりが強いことでも知られている。

あまたあるホイールの中から、これはという1本に巡り会うには、ときに偶然も必要!? と思うかもしれないが、それは違うとここで断言したい。ベースとなるクルマを見つめ直せば掴めてくる、真にマッチするデザイン、そしてサイズとはなにか。漠然としたテーマでありながらも、よく考えてみれば、それほど難しい問題ではないことに気が付いてもらえるはずだ。

アル&ヴェルはキング・オブ・ミニバン。重量級ボディにひるまないホイールに求められる第一のテーマは、単純かつ判りやすい大きさにあるはずだ。ワークがいま、アル&ヴェルに向けてイチオシするフィルボーレは、繊細なフィンを大胆に配したリムオーバー系である。リムオ

バーとはスポークがリムを突出するデザインの中で、実寸以上に大きく見えるトレンドの手法。フィルボーレはそもそも設定が20インチ以上と、大口径よりの1本だが、20なら21インチに、21なら22インチと、サイズ感が一段と際立って見える様は、重量級ボディに与えても見劣りしない。

もちろん大きく見せるだけなら、単にリムオーバー化するだけでいいのだが、フィルボーレの良さはそれだけにあらず。ディスク面をすり鉢状にアールさせたコンケイブ系とすることで、デザインに深みをプラス。3つ又にもツインにも見える2面性を持ったフィン、それ単体だけを見ればアル&ヴェル用としては華奢!? と思えなくもないが、リムオ

バー+コンケイブという技がシンクロすることで雰囲気は一変。洗練されたテイストは極めてモダンであり、ブランドが掲げる、アーバンなシーンにマッチするセンスフルなホイールをというコンセプトとも見事に一致する。それはまさに都会派リムジンとしての顔も持つアル&ヴェルに、ドンピシャだ。

ベースとなるクルマと、ホイールの特徴を照らし合わせることで見えてくる理想の1本。アル&ヴェルが持つ個性と、ホイールが求める狙いが見事にリンクするフィルボーレ。その出会いは、必然の結果である。

# WORK

## URBANZONE FERVORE

【問い合わせ】WORK  
TEL:048-888-7555 (東日本)  
TEL:052-777-4512 (中日本)  
TEL:06-6746-2859 (西日本)  
www.work-wheels.co.jp

ワーク・アバンツォーネ  
フィルボーレ

リムオーバー×コンケイブの「体現」。  
めぐり逢えた理想の健脚。

ときに3つ又、ときにツインと、見方によって捕らえ方が変わる、独自のフィンスポーク。コンケイブ状にアールを効かせフランジを突出させるリムオーバーデザインとなっているが、リム手前でフラットな面を持たせるなど、+αのアレンジも。高級車アル&ヴェルに見合う相応の色がぜひ欲しいところだが、フィルボーレは色のセンスもヨシ。新色トランスグレーブラックメタリックは、複数の工程をへて仕上げる高付加価値な色。グリミットシルバーにはないデザインマシニングが、ブランドホイールとしての矜持。

### SPECIFICATIONS

SIZE	COLOR	価格(税抜)
20×8.5J	トランスグレーブラックメタリック/グリミットシルバー	¥56,000
21×8.5J	トランスグレーブラックメタリック/グリミットシルバー	¥66,000
22×9.0J	トランスグレーブラックメタリック/グリミットシルバー	¥77,000

First of all,  
the Wheel.  
**WHEEL EXPO**  
**2017**  
THE FIRST STEP OF THE CUSTOM